阿賀野川えとこだプロジェクト × 阿賀野川エコミュージアム → あがのがわ環境学習ツアー & グリーン&ネットショップ 阿賀の宝 ものがたり
新潟県

第21号
2017.3.9

阿賀野川 え～とこだより
aganogawa E-toko dayori

「草倉銅山の荒銅を出荷した阿賀野川の川港、白い煙を上げる建物が角神製錬所」（阿賀町鹿瀬・明治 15 年～明治中期／柏崎市立図書館・小竹コレクション）

もくじ

特集1　阿賀野川エコミュージアムを目指す流域再生フォーラム（第6回）――2
・阿賀野川・光と影の近代ものがたり特別編
特集2　地域再発見講座（第17・18回）レポート――4
・昔の写真と見比べながら現地を巡る
阿賀野川上流域の近代産業ツーリズム
特集3　新潟水俣病の光と影を学ぶ――6
企業CSR研修レポート
インフォメーション――8

流域発祥の大企業が辿った光と影の歴史を見つめ直して

近代産業の遺産を活かした企業CSR支援のメッカを目指す流域の現在

FM事業ではこの1年を通じて、企業を軸とした2つの流域再生を進めてきました。一つは阿賀野川流域で盛衰した近代産業の光と影の歴史を学ぶ講座やパネル展の開催で、とりわけ阿賀町鹿瀬を奇しくも最初の"創業地"とする「草倉銅山の古河財閥」と「鹿瀬工場の昭和電工㈱」の二大企業に人々の注目が集まります。

これら企業の揺籃（ようらん）期をさらに掘り下げると、明治・大正・昭和期の企業人がいかに逞しく新産業を開拓したか如実に分かり、そうしたフロンティアスピリットが現代日本を代表する様々な大企業の創業にも貢献しました。その一方、操業過程で環境への配慮が忘れられ、深刻な公害を引き起こした負の側面も共通しています。

FM事業における企業を軸としたもう1つの流域再生として、こうした流域発祥の大企業が辿った光と影の歴史を学ぶCSR研修を、今年度も流域内外の企業社員などへ昭和電工㈱等と協働して提供してきました。今号では、こうした近代産業の遺産を活かした企業CSR支援のメッカを目指して動き始める阿賀野川流域の現在をお伝えします。

※CSRとは「企業の社会的責任」のこと。詳細はP．6参照。　※FM事業とは「阿賀野川え～とこだプロジェクト」のこと。詳細はP．8参照。

この情報誌は環境省の補助を受けて新潟県が発行しています。

パネル展「阿賀野川上流域を巡る近代産業の変遷 ～明治・大正・昭和～近代日本がたどった光と影の縮図」ラスト開催！

11 月から始まったパネル巡回展もラスト展示…お見逃しなく！

期間	会場		時間
3/18～3/30 ※3/24 休館	江南区文化会館内	江南区郷土資料館	10:00～19:00 日曜・最終日 17:00 まで

観覧者の感想

- ●発展の裏には環境問題があると分かった。（五泉市・10 代）
- ●今なお続く被害者の苦悩に、寄り添わねば。（中央区・40 代）
- ●発展に頑張った先人とその負の姿を知った。（五泉市・70 代）
- ●足尾鉱毒事件や水俣病を忘れてはならない。（西区・60 代）
- ●豊かさは良いが公害は起きないでほしい。（阿賀野市・10 代）

フォーラム（第 6 回）阿賀野川・近代ものがたり特別編を開催します！

詳しくは P.2～3 へ

3 月 26 日（日）に新潟市江南区郷土資料館にて、「明治・大正・昭和の企業スピリットと忘れられた環境への配慮～草倉・足尾銅山を開発した古河財閥、山奥の大工場から出発した昭和電工～」と題した上記イベントを開催します！ **申込方法など詳細は P.2～3 をご覧ください。**

日時●3 月 26 日（日）13 時半～（開場 13 時～）　場所●新潟市江南区郷土資料館

参加申込書　阿賀野川えとこだプロジェクト × 阿賀野川エコミュージアム 流域再生フォーラム（第6回）

※いただいた個人情報は、流域再生事業の実施を目的とした用途以外に使用することはありません。

ふりがな お名前		ご住所	〒
ご所属（※あれば）		電話番号	

「阿賀野川え～とこだプロジェクト」とは？

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」（通称FM事業）と言い、阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

阿賀野川え～とこだ！憲章（事業理念）

私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな価値を創造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確立へ向けて行動します。　（阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会）

編集後記

第 21 号はいかがでしたでしょうか？

平成 26 年の 2 月に初めて実施した昭和電工㈱等との協働取組。それ以降の企業研修を中心とした一連の動きが、流域内外の様々な企業を徐々に巻き込みながら、大きな流れを形づくる兆しが見え始めています。今号では、その途中経過の様子を余すところなく伝えられたのではないでしょうか？

この流れは来年度になるとますます加速することが期待され、流域自治体とも連携して流域外の企業へも積極的に働きかけて参りたいと考えています。企業 CSR 支援のメッカを目指すこの流域の動きがどこまで発展しうるか、次号でも引き続きお伝えして参りますので、ご期待ください。

阿賀野川え～とこだより 第 21 号
発行：新潟県（※環境省補助事業）　発行日：2017 年 3 月 9 日
企画編集：一般社団法人あがのがわ環境学舎（〒959-2221 阿賀野市保田 3866-1）

TEL.&FAX.0250-68-5424
aganogawa@niigata.email.ne.jp

阿賀野川え～とこだ!流域通信
http://www.aganogawa.info/
アクセス増加中！

特集1

阿賀野川・近代ものがたり 特別編

阿賀野川エコミュージアムを目指す流域再生フォーラム（第6回）

阿賀野川えとこだプロジェクト × 阿賀野川エコミュージアム

明治・大正・昭和の企業スピリットと 忘れられた環境への配慮

～ 草倉・足尾銅山を開発した古河財閥、山奥の大工場から出発した昭和電工 ～

（鹿瀬工場タイムス）

参加特典として、草倉銅山・昭和電工㈱鹿瀬工場の特製地図（3枚）を進呈します！

明治・大正・昭和の企業人たちの“たくましいフロンティアスピリット”に触れるとともに、“環境配慮の地道な追求がいかに重要か”を学ぶフォーラムを開催します！

●古河財閥から生まれた企業群の系譜・人脈を中心に近代日本の企業人たちのたくましいフロンティアスピリットを学びます。

●足尾鉱毒事件の顛末も含めた古河財閥のその後や、CSRとして先進的な昭和電工㈱の現在の取組などをご紹介します。

※現在の写真はすべて山口冬人氏撮影

古河市兵衛
1832年-1903年
出典：「【小野崎一德写真帖】足尾銅山」（小野崎敬編著・新樹社）

古河財閥の創業者・古河市兵衛と昭和電工㈱創業者・森矗昶。阿賀町鹿瀬を創業地として選んだこの二大企業群が辿った光と影の軌跡と現在を豊富な写真と史料から読み解く流域近代産業シリーズの最終決定版！

森 矗昶（のぶてる）
1884年-1941年
出典：「昭和電工五十年史」（昭和電工㈱）

日程 3/26（日）13時半～16時（開場：13時～）

会場 新潟市江南区郷土資料館 展示室1&2
住所：新潟市江南区茅野山3丁目1番14号（新潟市江南区文化会館内）

条件 対象：一般 ／ 定員：40名（先着順） ／ 参加費：無料

申込方法

下記必要事項をご記入の上、下記お申込み先に電話・FAX・メールにてお申し込みください。お申込期限は3月24日（金）17時、定員は40名先着順です。お申し込み時点で、定員を超えていた場合のみ、ご連絡します。

参加申込書 阿賀野川えとこだプロジェクト × 阿賀野川エコミュージアム 流域再生フォーラム（第6回）

※いただいた個人情報は、流域再生事業の実施を目的とした用途以外に使用することはありません。

ふりがな お名前		ご住所	〒
ご所属 （※あれば）		電話番号	

お問合せ・お申込み先 一般社団法人 あがのがわ環境学会 TEL&FAX 0250-68-5424 aganogawa@niigata.email.ne.jp

主催：新潟県&阿賀野川エコミュージアム構想推進協議会 共催：新潟市・阿賀町 後援：五泉市・阿賀野市 企画：一般社団法人 あがのがわ環境学会